
開講科目名：租税法基礎研究 (2単位)
開設年次：1年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：服部 由美

《授業の概要》

1. 授業の概要

「講義の目的」
受講生に、租税法を研究するのに必要な法学の基礎について、全般的に学んでもらう。

「講義の内容」
前半は、おおむね、テキストに従って、租税法律主義、法令の解釈、「税法の読み方」「判例の読み方」等を学ぶ。
後半は、民法、刑法、民事訴訟法等の基本について、租税法の理解に必要な範囲で、学びつつ、租税訴訟の基礎についても、習得してもらう。

「授業の内容」
第1回 法解釈学、法令解釈の手法
第2回 法的三段論法、
第3回 税法の読み方、法令用語
第4回 税法の読み方、法令用語
第5回 判例の読み方
第6回 判例の読み方
第7回 憲法と租税法律主義
第8回 憲法と租税法律主義
第9回 民法の基礎と税法
第10回 民法の基礎と税法
第11回 民法の基礎と税法
第12回 民事訴訟法の基礎・要件事実論
第13回 租税訴訟
第14回 知的財産法の基礎と税法
第15回 刑法の基礎と租税処罰法

2. 評価方法

出席及び授業への参加姿勢、貢献度等を総合的に勘案して評価する。

《テキスト》

「税法の読み方 判例の見方改訂第三版」 (2014年TKC出版)

《参考書》

金子宏「租税法第20版」 (2015年・弘文堂)